



特集

ボランティアを始めてみませんか

人と人とのつながりを大切にしているボランティア
新たな出会いや感動が得られます

身近なことから

ボランティア

地域の清掃や除雪、子どもたちへの絵本の読み聞かせなど、身近な所でボランティア活動をされている方々がいます。

また、最近では、学校としてボランティア活動に取り組んでいるところもあります。

今年7月に東区役所で主催した、地域の親子が交流するイベント「タッピー夏まつり」には、4日間で、276人の中学生、高校生、専門学校生がボランティアとして参加し、子どもたちの遊び相手をしました。

住みやすいまちにするにも活気あるまちにするにも、ボランティアの方々の力が必要です。自分にできる範囲のことからボランティアを始めてみませんか。

ボランティア紹介



まちを案内

観光ボランティア

竹内 諭さん

東区北光地区に住む、竹内諭さん（68歳）は、観光ボランティア5年目。会社を退職して、何かボランティアでもと思っていたところ、観光ボランティアの募集を知り、応募したのがきっかけです。

観光ボランティアは、札幌駅や大通公園にある観光案内所で、観光施設への道案内やパンフレットの配布、記念撮影のお手伝いをします。

ボランティアを始めて、まちのことを深く知るようになったとか。日ごろから、新聞で報道された観光名所の記事の切り抜きをしたり、できるだけ市内を歩くようにして、

情報収集に努めています。観光客にもおてなしの心で接する竹内さん。「これからもボランティアを続けていきます」と話してくれました。



▲タッピー夏まつりで活躍する学生ボランティア（スタッフのベストを着用）



▲外国から来た観光客に道案内をする竹内さん